

## 純粹親睦

ロータリーの初期のころ、シカゴの新聞にロータリーを紹介する記事がありました。曰く

ロータリーに出席すると非常に気分が開放的になり、それだけではなく何とはなしに自分の心の中で世のため人のためのエネルギーが自覚されてくる。ロータリークラブに行くと、地域における良心的な職業人の議会みたいなものを感じることができる、ということであったそうです。

気分が開放的になって、楽しい、それがロータリーの本来の出発点だったわけです。

ロータリーは職業人の親睦の団体として始まった社交クラブであります。社交クラブというのは行きたい時に行き、止めたい時にはいつでも止められるというものでしょう。

ところがロータリーの場合、ポール・ハリスは本来任意性の強い社交クラブの中で、開放的な親睦を作りたいと、何かと疑心暗鬼のおこりやすい同業者を排除して、フランクに話し合える異業種の人をもって構成しようと一業一会員制をとりました。その結果業種の違った者たちが肩と肩を寄せ合う親睦の中で、おのずから異業種の智恵が交換されて、己の視野がひろがり、商売の見通しができるようになって、それぞれの企業が繁栄するようになりました。1929年に始まるアメリカの社会を襲った空前絶後の大パニックにロータリアンは一人も倒産しなかったと言われています。こうして、自然に醸成された親睦のエネルギーを自分たち以外の人々の幸せのためにも放流しようということになって1908年「奉仕」という言葉によって結び付けられるにいたったのであります。

このように、ロータリーは異業種の集まりであるがゆえに、異なる発想の交換によって、個々のロータリアンが精神的影響を受け、より高い倫理的思想を次第に習得していくことを理想とします。これを純粹親睦というのです。

親睦と言えは楽しむことだと思ってしまうでしょうが、親睦にはいろいろな意味があります。親睦の中には人間の社会性を形成するためのありとあらゆる現象が含まれています。そういった親睦のすべての意味をひっくるめての中心概念は心の向上というか、心の練磨ということでしょう。心の練磨があつていろいろな楽しみが出てくるのだと思います。そして全体的に楽しい親睦の状態が持続されていくのです。

(17.3.2)

## 自己研鑽と奉仕

ロータリーの親睦というのは、ともすると後にむなしさだけが残るような感性的な交わりではなく、多層的に構成される会員が世俗の憂きことをわすれ、心を開いて、ごく自然な楽しさに溶け合う時、自分の業界だけでは得られないような上質な発想をいただいて、自分も、他の人も次第に磨かれていくという、心の高まりを感じるような同士の交わりであります。そういう交わりが世のため人のための原動力となるエネルギーを生むのです。人間はその心が改善されればそのエネルギーは知らず知らずの間に自分の五体を通じて社会に出ていくものです。幸せのおすそ分けということが言われますが、こういった過程を総称してロータリーは「サービス」と呼んだのではないのでしょうか。そして、そういう親睦の場を定期的に保障するのが毎週一回の定例会であります。

ですから、例会に出るときは他の会員にもお土産が上げられるような上質な発想を用意することも心掛けたいものです。相撲で力士が取り組むとき、自分の実力をぶっつけ合ってこそ見ごたえのある取り組みとなり、明日への向上につながっていくのです。気の抜けたような立会いをすると、相手に失礼ですよ。また気の抜けた立会いは結局は自分をもだめにしてしまうようなものです。そのように人格の向上と実力の涵養を目指して切磋琢磨する人生の道場、それが例会です。

日本ロータリーの始祖米山さんが「ロータリークラブというのは奉仕クラブではない。ロータリークラブというのは親睦団体である。異業種の智慧を集めて相和する親睦団体である。その親睦の第一義は自己研鑽である。肩のこらない親睦の中で自分という者を見出し、創造的に自分を作っていくのである」と言っておりますのはその辺の消息を物語るものでしょう。

また、初期ロータリーのバイブルと言われるガイ・ガンディカの「ロータリー通解」には「ロータリーの奉仕とは、困った人のドアのところに、困った人が求めているものを置いてくるというような即物的、且つ瑣末的なものを意味するものではない。ロータリーの奉仕は一業一会員制をもって選ばれた良質な職業人が例会において自己研鑽を遂げ、自分の心の世界が深くなり、高くなり、自分の力量が大きくなっていくことを意味するもので、実力の涵養と人格の形成が根本である。そしてそのエネルギーが社会万般を潤す、それがロータリーの奉仕の本質である」という宣言があります。社会万般の不幸を黙って見過ごせない、何とか立ち直りに手を貸してやりたい惻隱の情の発露がロータリーの奉仕の本質ということでしょう。ロータリーの奉仕は困っている人が如何に自立していくか、その心の自立を促すという奉仕ではないのでしょうか。だからロータリークラブはもともとあれをやった、これをやったと誇る団体ではありません。

(17.3.9)